

地域社会の皆様へ ～飲酒運転防止の徹底について～

信濃町立信濃小中学校

長野県教育委員会は、「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」の提言に基づき、平成25年7月に「信州教育の信頼回復に向けた行動計画」を策定しました。私たち信濃小中学校教職員も県下の小中高等学校の教職員と同様に、非違行為の根絶に全力で取り組んできました。

しかし、こうした取組を進めている最中にも、酒気帯び運転の疑いで相次いで摘発されるという重大な非違行為が発生しており、地域社会の皆様や子どもたちに対して大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

信濃小中学校教職員は、今回の事案を自分事と捉え、非違行為を根絶するために教職員としての誇りと自覚を再認識する取組（下記参照）を全職員で改めて行いました。学校現場に対する信用を著しく失墜させる行為は今後も絶対に起こさず、子どもを軸足においた教育を地域の皆様のご協力のもと力強く推進してまいります。

教職員としての誇りと自覚を再認識する研修

(H25 長野県教育委員会「校内研修アシストブック」を参考にして実施)

「どうして自分はこの職業を目指そうとしたのか」、「初めて子どもたちの前に立った時はどんな気持ちだったか」について、少人数のワークショップ形式で語り合いました。教職員である自分自身を見つめ直し、初心を思い起こして、教職員としての誇りと自覚を再確認することができました。そして、今後さらに教職員としての力量を高めていかなければならないという意識を確認することができました。（以下、出された意見。）

- 初任の頃、理想を思い描いていた自分や、うまくいかずに悩みながらも何度も挑戦していた自分を思い出した。初めて教壇に立ったこの気持ちを忘れずにいたいと思った。
- 目の前の子どもたちとの毎日に慣れている自分に気づいた。これが当たり前でなく、この子どもたちのために今日も頑張ろうという気持ちで毎朝教室に入りたい。
- 何のためにこの道を進んでいるのかを改めて考えることができた。信頼回復のためには、当たり前のことを当たり前に行っていくことが大切と思う。子どもたちにしっかりとした学力をつけ、学校目標である「信濃町に誇りをもち、次代を担う人材の育成」のために日々しっかりと努力していきたい。

※なお、これまで継続して積み重ねてきた非違行為防止のための研修のまとめとして、「信濃小中学校教職員非違行為防止宣言」を作成します。それを学校運営協議会等で話題にして、地域社会の皆さんからのご意見をお聞きしながら、飲酒運転防止を含めた非違行為の根絶の意識をさらに高めていきたいと考えております。